

部会WG 状況把握表

		実行実績（DO）		評価（CHECK）	改善（ACTION）
第2 四半期	7月	7/8 第2回WG ・心のサポーター養成研修の受講日決定 ・オーナー会への依頼方法について検討 ・モデルケースの状況と、ケアシステム図活用について検討 ・昨年度のアウトリーチ事業の活動報告		・オーナー会への依頼について、今後の進め方を決めることができた。 ・モデルケースをケアシステム図に落とし込むことで、活用できるケアシステム図であることを形に残すように決め、また、地域移行の課題について検討することができた。	・賃貸住宅仲介業者の社長へアポイントを取り、日程を調整する。その後、WGとして伝えたいこと等詳細を決めていく。 ・終了・継続に関わらず、モデルケース7件をケアシステム図に落とし込んだ資料を作成する。→複数回に分けて次回以降のWGで報告する。
	8月	8/5 第3回WG ・オーナー会への依頼について ・モデルケースとケアシステム図について、経過報告 ・アウトリーチ事業の報告		・オーナー会への依頼について、進捗を確認した。 ・ケース番号①④⑥について資料を作成し共有できた。全てのケースについて経過を報告し、内容について検討できた。	・できれば8月中にコア会議を開催し、早急にオーナー会への依頼についてスケジュール調整等を行い、見通しを立てる。
	9月	9/9 コア会議 ・オーナー会への依頼について検討 ・モデルケースの報告		・心のサポーター認定証が配布され、次年度以降の活動方針について検討することができた。 ・オーナー会への依頼について、WGとして参加するのは現実的ではないことが確認できた。 ・モデルケース②④⑧について進捗の報告があった。	・9月12日の結果を踏まえて、今後の動きを検討する必要がある。
上半期 総 評		達成率	今年度の活動計画について全体で理解を深めることができた。改めてモデルケースの進捗を整理し、地域移行に向けた課題抽出や支援方法の検討を行うことができた。オーナー会への啓発について、依頼状の作成や依頼先の調整をすることができた。		
		100%			
第3 四半期	10月	10/7 第4回WG ・心のサポーター養成研修		・心のサポーター養成研修を受講し、メンタルヘルスの正しい知識、こころの病気を持つ方たちの体験やリカバリー、サポートの仕方等を学んだ。	・心のサポーターとしての実践につなげる。
	11月				
	12月	12/23 第5回WG ・心のサポーター養成研修の振り返り ・オーナー会への依頼について、進捗状況の確認 ・モデルケースの報告 ・令和7年度第3四半期までの振り返り ・アウトリーチ事業の報告		・心のサポーター認定証が配布され、次年度以降の活動方針について検討することができた。 ・オーナー会への依頼について、WGとして参加するのは現実的ではないことが確認できた。 ・モデルケース②④⑧について進捗の報告があった。	・仲介業者さんやオーナーさんへは、都度ケアシステム図の存在を知ってもらい活用してもらえるよう啓発する。 ・一人暮らし後の”定着”について、引き続きケース検討を通じて課題整理を行う。
第4 四半期	1月				
	2月	2/13 第6回WG ・モデルケースの報告とまとめ ・令和7年度状況把握表、令和8年度年間実施計画(案)について ・アウトリーチ事業の報告		・令和7年度の総括をし、令和8年度の活動について協議することができた。	・伊賀圏域版の地域包括ケアシステムを各関係機関に啓発する。 ・モデルケースの1つを成功事例とし、来年度はその事例を使ってフロー図を作成し、WGの成果報告会を行う。
	3月				
下半期 総 評		達成率	心のサポーター養成研修を修了することができた。結果的にオーナー会への参加はせず、調整の場で仲介業者さんの見解や思いを伺い意見交換を行えた。ケアシステム図の活用について話をすることもできた。		
		100%			
年度 総 評	達成率		ケアシステム図やケース検討から出てきた課題をWG内だけに留めるのではなく、WGメンバー個々の持つネットワークに持ち帰り、展開することができた。地域移行については、モデルケースを通じて、達成できたこと／できなかったことの両面を共有する重要性を確認し、課題抽出・整理を繰り返し、実例を積み上げることができた。心のサポーター養成研修を修了し、心のサポーターとしての実践やWGとしての啓発活動について検討することができた。		
	100%				

就労部会 【 雇用啓発 WG 】				
令和7年度 就労部会WG状況把握表				
活動理念		○就労ステージ（雇用の場・就労福祉サービス、地域活動参加等）の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく		
活動目標		○福祉から就労に向けた計画的推進と障がい者の就労定着や雇用促進に向けた啓発 ○雇用の場の開拓と啓発		
		取り組み計画（PLAN）		
		①企業向け研修会の開催		
		実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）
第1 四半期	4月			
	5月	5/8(木) 第1回WG会議 ・WG年間開催日の確認 ・年間事業計画の確認 ・第1回研修会について協議 ・開催日、講師の選定を協議	・企業に対する障がい者雇用についての課題解消を目的とした研修会を企画	
	6月	6/12(木) 第2回WG会議 ・第1回研修会の開催日、講師の決定	・開催要項、案内文書、案内チラシ等について協議 1. 日時：9月5日(金) 14:00～15:30 2. 場所：名張市防災センター 3. 講師：株式会社 ネクスト・ワン 常務取締役 丹下剛一さん ・第1回研修会の案内は、ハローワーク伊賀の就職面接会の案内に同封し、6/30付けで198社へ案内送付	令和6年度にWG予算がない中で、研修会案内発送に係る郵便料の負担について課題となっていたが、ハローワーク伊賀が開催する就職面接会の案内に同封することで一定の課題解決につながった。今後も企業のメーリングリストを活用する等、予算の必要のない周知方法を検討していく。
第2 四半期	7月	7/10(木) 第3回WG会議 ・第1回研修会当日運営について協議 ・第2回研修会について協議 ・開催日、講師の選定を協議	・第1回研修会後のアンケート内容、当日の運営等について協議 ・第2回研修会について協議 ・開催時期、講師の候補を協議	
	8月	8/8(金) 第4回WG会議 ・第1回研修会について最終確認 ・第1回研修会の申込状況の報告 ・第2回研修会について検討	・第1回研修会に、8/7時点で8名(7社)の参加申込がある。 ・第2回研修会の講師候補として企業2社を選定	・第1回研修会への定員に達していないため、就職面接会参加申込企業、案内発送企業、障がい福祉事業者等へ再度案内をメールで行うことを確認した。
	9月	【第1回研修会】 1. 日時：9月5日(金) 14:00～15:30 2. 場所：名張市防災センター 3. 講師：株式会社 ネクスト・ワン 常務取締役 丹下剛一さん 4. スタッフ：9名 9/11(木) 第5回WG会議 ・第1回研修会についての振り返り	【第1回研修会】 1. 日時：9月5日(金) 14:00～15:30 2. 場所：名張市防災センター 3. 講師：株式会社 ネクスト・ワン 常務取締役 丹下剛一さん 4. 内容：「企業内の障がい者雇用を振り返って」 ○事前申込人数 24名(18社) ○当日参加人数 22名(17社) ・第2回研修会について協議 ・開催時期、講師の候補を協議	
上半期 総 評	達成率	9/5(金)に企業向けの「第1回研修会」として、障がいのある人たちの就労の場を開所した経緯や、仲間づくりや社会参画の一步をどのように支援しているかについて講演してもらった。参加者22名のうち17名(77.27%)からアンケートの回答があり、そのうち15名は「大変よくわかった」または「ある程度わかった」と回答し、88.24%の高い評価を得られた。		
	100%	企業向け研修会の実施		

		実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）
第3 四半期	10月	10/9(木) 第6回WG会議 ・第2回研修会について協議 ・第1回研修会の開催日、講師の決定 ・第2回就労部会コア会議の報告	・開催要項、案内文書、案内チラシ等について協議。 1. 日時：12月11日(木) 14:00～15:30 2. 場所：伊賀市役所本庁舎 3. 講師：ロート製薬株式会社 上野テクノセンター 玉越一美さん、中尾由有子さん、 青木誠治さん ・第2回研修会の案内は、ハローワーク伊賀の冬の就職面接会の案内に同封し10/31付けで170社へ案内送付	令和6年度にWG予算がない中で、研修会案内発送に係る郵便料の負担について課題となっていたが、ハローワーク伊賀が開催する冬の就職面接会の案内に同封することで一定の課題解決につながった。今後も企業のメールリングリストを活用する等、予算の必要のない周知方法を検討していく。
	11月	11/13(木) 第7回WG議 ・第2回研修会について最終確認 ・第2回研修会の申込状況の報告 ・今年度事業の振り返り、来年度事業計画について協議	・第2回研修会に、11/12時点で6名(5社)の参加申込がある。	・第2回研修会への定員に達していないため、冬の就職面接会参加申込企業、案内発送企業、障がい福祉事業者等へ再度案内をメールで行うことを確認した。
	12月	【第2回研修会】 1. 日時：12月11日(木) 14:00～15:30 2. 場所：伊賀市役所本庁舎 3. 講師：ロート製薬株式会社 上野テクノセンター 玉越一美さん、中尾由有子さん 青木誠治さん（※当日急遽欠席） 4. スタッフ：7名 12/18(木) 第8回WG会議 ・第2回研修会について振り返り ・今年度の振り返り、来年度について協議	【第2回研修会】 1. 日時：12月11日(木) 14:00～15:30 2. 場所：伊賀市役所本庁舎 3. 講師：ロート製薬株式会社 上野テクノセンター 玉越一美さん、中尾由有子さん 青木誠治さん（※急遽当日欠席） 4. 内容：「企業での障がい者雇用の取り組みについて」 ○事前申込人数 35名（24社） ○当日参加人数 31名（33社）	・当日は当事者の講師が体調不良により急遽欠席となり、トークセッションについて一部内容を変更したが、仕事を通して関わる中で、企業側の熱い思い等をよりわかりやすく聞けることができた。参加者からも活発な質問があり有意義な研修会であった。 ・今後の研修会の実施について、障がい者雇用における企業側が抱える課題や求める人材の把握をアップデートし、研修内容等に活かしていく必要がある。事業所連絡会WGとも連携し、企業側に事業所の実態や利用者の様子を知ってもらう機会等も必要である。 ・リマインドの必要がなく、企業から研修会への参加申込があるよう、研修内容、周知方法、チラシの構成等について工夫や改善が必要である。
第4 四半期	1月	1/22(木) 第9回WG会議 ・第2回研修会について振り返り ・今年度の振り返り、来年度の取組について協議		
	2月	2/12(木) 第10回WG会議 ・来年度の取組について協議（予定）		
	3月	3/12(木) 第11回WG会議 ・来年度の取組について協議（予定）		
下半期 総 評	達成率	企業向け研修会の実施	12/11(木)に企業向けの「第2回研修会」として、共に働く障がいのある人たちにとって何がより良い支援なのかを問いながら、様々な機関とも連携し、更に高みを目指す意気込みで心を動かされる内容であった。参加者31名のうち20名（64.5%）からアンケートの回答があり、全員より「大変よくわかった」または「ある程度わかった」と回答があり、理解度100.00%の評価を得られた。	
	100%			
年度総評	達成率	企業向け研修会の実施	2回の企業向け研修会を実施により一定程度は企業の抱える課題解消の一助となった。今後も障がい者雇用に理解や関心を持ってもらい、ひいては雇用率上昇に繋げるために創意工夫し研修会を継続していく。	
	100%			

就労部会 【 雇用啓発 WG 】				
令和7年度 就労部会WG状況把握表				
活動理念		○就労ステージ（雇用の場・就労福祉サービス、地域活動参加等）の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく		
活動目標		○福祉から就労に向けた計画的推進と障がい者の就労定着や雇用促進に向けた啓発 ○雇用の場の開拓と啓発		
		取り組み計画（PLAN）		
		②他機関主催イベントへの参画（障がい者就職面接会等）		
		実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）
第1四半期	4月			
	5月			
	6月			
第2四半期	7月			
	8月	8/8(金) 第4回WG会議 ・障がい者就職面接会について確認 【ハローワーク伊賀主催 障がい者就職面接会】 1. 日時：10月10日(金) 13:00～16:00 2. 場所：三重県伊賀庁舎		
	9月	9/11(木) 第5回WG会議 ・障がい者就職面接会の分担等について確認	【ハローワーク伊賀主催 障がい者就職面接会】 1. 日時：10月10日(金) 13:00～16:00 2. 場所：三重県伊賀庁舎	
上半期 総 評	達成率	障がい者就職面接会に向けた調整・確認	下半期の面接会に向けた調整・確認を行った。	
	100%			

		実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）
第3 四半期	10月	10/9(木) 第6回WG会議 ・ 障がい者就職面接会について最終確認 【ハローワーク伊賀主催 障がい者就職面接会】 1. 日時：10月10日(金) 13:00～16:00 2. 場所：三重県伊賀庁舎	【ハローワーク伊賀主催 障がい者就職面接会】 1. 日時：10月10日(金) 13:00～16:00 2. 場所：三重県伊賀庁舎 3. 参加企業：24社 4. 参加者：32名 (内訳) ・ 伊賀16名、名張14名、奈良市2名 ・ 身体6名、知的6名、精神20名 (雇用につながった件数) ・ 身体1名、知的0名、精神13名	集合形式としては初の事前予約制により開催した。予約制にしたことにより参加人数は昨年(57名)より下がったものの、1月時点での採用決定者は14名で昨年(16名)とほぼ同人数という結果であった。今回は精神障害者の採用が多く、定着できるかが今後の課題である。次年度も部会活動の一つとして主催者とともに継続して取り組んでいく。
	11月	11/13(木) 第7回WG議 ・ 障がい者就職面接会について報告 ・ 冬の就職面接会について確認 【ハローワーク伊賀主催 障がい者就職面接会】 1. 日時：2月13日(金) 12:30～15:30 2. 場所：三重県伊賀庁舎	【ハローワーク伊賀主催 障がい者就職面接会】 1. 日時：2月13日(金) 12:30～15:30 2. 場所：三重県伊賀庁舎	
	12月	1/18(木) 第8回WG会議 ・ 冬の就職面接会について確認		
第4 四半期	1月	1/22(木) 第9回WG会議 ・ 冬の就職面接会について確認		
	2月	2/12(木) 第10回WG会議 ・ 冬の就職面接会について最終確認 【ハローワーク伊賀主催 冬の障がい者就職面接会】 1. 日時：2月13日(金) 12:30～15:30 2. 場所：三重県伊賀庁舎	【ハローワーク伊賀主催 冬の障がい者就職面接会】 1. 日時：2月13日(金) 12:30～15:30 2. 場所：三重県伊賀庁舎 (内訳) ・ 伊賀〇〇名、名張〇〇名、〇〇市〇名 ・ 身体〇〇名、知的〇〇名、精神〇〇名 (雇用につながった件数) ・ 身体〇名、知的〇名、精神〇名	
	3月	3/12(木) 第11回WG会議 ・ 冬の就職面接会について報告（予定）	求職者申込受付中（～1/28まで） 参加企業23社	10月の面接会と同様に事前予約制で実施した。冬の時期にハローワーク主催で面接会を開催するのは初であった。参加企業23社の内12社は10月面接会にも参加いただいた企業だった。
下半期 総 評	達成率	障がい者就職面接会、冬の就職面接会に協力	障がい者就職面接会、冬の就職面接会において、会場設営、受付、ブース案内等を行った。	
	100%			
年度総評	達成率	障がい者就職面接会、冬の就職面接会に協力	伊賀公共職業安定所が主催する事業に、WGとして協力することができた。事業協力により、参加企業担当者との顔の見える関係の構築により、企業が求める人材の把握や障がい参加者の就職ニーズを把握する機会となった。	
	100%			

就労部会 【 事業所連絡会WG 】					
令和7年度			部会WG 状況把握表		
活動理念		・福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を実現する。 ・障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。			
活動目標		・事業所間コミュニケーションを図り、目に見えるネットワークをつくる。			
①		取り組み計画（PLAN）			
		①座談会			
		実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）	
第1 四半期	4月	・4/18WG(毎月第3金曜日開催) ・年間事業計画等確認 ・昨年度座談会のフィードバック ・8月開催に予定 ・グループに分かれたディスカッション、交流、顔の見える関係づくりを目指す。 ・事業所の職員が支援等で抱える困りごとを共有し、支援力の向上を目指す。	・実施形態について検討 （オンラインと対面のハイブリッド案） ・参加者募集の方法について検討 ・グループの構成について検討 （経験年数・年齢・ポジション別等） ・イベント開催までのスケジュール確認	・座談会の実施方法グループの構成について昨年の意見をもとに検討 ・共同受注についての仕組み作りを協議 現在の事業所同士のつながりでは難しいと思われる。まずは事業所間のつながりを深めていくことから考えていく。	
	5月	・5/8第2回事業所WG 座談会の対面会場決定 開催日時(8/18 15:30～17:00)、 参加募集内容の詳細・スケジュールの確認	・トークテーマなど座談会の内容について検討 6/17開催案内、募集(6/30締切) 7/4リマインド(7/11締切)	昨年度の意見より、座談会はハイブリッドで実施予定。オンラインはトークテーマ、経験年数、役職を考慮してグループ分けをし、対面は参加会場ごとに分けて実施することとした。	
	6月	・6/20WG 座談会打ち合わせ	・イベント当日の進行について ファシリ役割と事前準備について確認	昨年あった議事録は作成せずトークの内容から次につながりそうなものをメモをして次のWGで共有。ファシリは答えを出そうとせず座談会の調整役とする。	
第2 四半期	7月	・7/18WG ・座談会申し込み状況の共有 ・当日の進行について最終確認	WGメンバーで役割分担し電話にて再度リマインドを行うことで、参加が増えた。	グループ分け終了後各グループのファシリはメンバーに興味のあるテーマの内容など事前連絡をしアイスブレイクをする。	
	8月	・8/18 座談会開催 参加者(28 名)	ハイブリッドで実施 対面2か所 オンライン5グループ WG長、副WG長はオンラインで各グループに参加。	ハイブリッドでの実施は様々な場面で事業所の参加率を上げるための方法として使っていける見通しがついたと思われる。	
	9月	8/22WG ・振り返りを行う	参加の無い事業所や反応の少ない事業所にどのようにアプローチするかという課題が見えた。	ファシリの事前打ち合わせの際、より計画的に進めるためにタイマー設定などが必要。グループメンバーへのファシリによる事前連絡があることで進めやすい環境ができていた。	
総 評 上 半 期	達成率			近年の実績から好評であるため本年度も実施。今年度についてはハイブリッドでの実施をした。対面での実施も好評だった。より多くの参加者を考えるとハイブリッドでの開催は効果的と思われた。企画から実施までの流れは計画的に進められた。	
	100%				
第3 四半期	10月	実施なし			
	11月	11/21WG			
	12月	12/19WG			
第4 四半期	1月	1/22WG			
	2月				
	3月				
評 期 下 総 半	達成率				
総 年 評 度	達成率			次年度以降は、障害のある方が一般就労へステップアップするため、より多くの事業所が参加できるような取り組みをし、経験年数を問わず職員の困りごとを解決できるようにする。	
	100%				

就労部会 【 事業所連絡会WG 】				
令和7年度 部会WG 状況把握表				
活動理念		・福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を実現する。 ・障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。		
活動目標		・事業所間コミュニケーションを図り、目に見えるネットワークをつくる。		
取り組み計画（PLAN）				
①		①－ 2 事業所訪問		
		実行実績（DO）	評価（CHECK）	改善（ACTION）
第1 四半期	4月	4/18WG 毎月第3金曜日にWG開催。 座談会・研修会の開催を予定	事業所間のコミュニケーションを図る機会をつくる。	・案内などの連絡に対して反応のない事業所も見られるためお互いがつながり知っていく機会を作る。事業所WGの活動を知ってもらうことにつなげる。
	5月	5/8WG		
	6月	6/20WG 就労選択支援の研修の開催が可能かどうか検討	情報の共有ははかるが今年度中の研修の開催については見送ることも検討。	
第2 四半期	7月	7/18WG		
	8月	8/22 ・年間計画より「素案①」について（事業所間の関係を深める機会の企画） 事業所訪問について検討	・事業所訪問について ・メーリングリストにある事業所をグループ化し各グループのリーダー（WG参加事業所）がグループの事業所とWGの橋渡し役となるようにしたいが現時点ではまずはつながることを目的として実施を検討	・事業所訪問と並行し共同受注の件も議題に上がる。まずは事業所訪問に実施による事業所同士のつながりづくりを優先する方向で計画を検討。
	9月	9/19 ・事業所訪問の実施について 各グループのリーダーはグループの事業所と調整を図り訪問の日程を名張市は副WG長 伊賀市はWG長へ報告（事務局医から事業所宛の依頼文書発送後調整を開始。	訪問は負担の無い範囲でWGの紹介に行く。時間も15～20分程度を予定。	・仮のグループを作成しWG内で再度事業所同士のつながりをもとに組みなおし、伊賀市、名張市それぞれのグループを作成 ・過去の実施時の反省からより負担の無い実施のため事務局は同行しない。
総 評 上半期	達成率			
第3 四半期	10月	実施なし		
	11月	11/21WG 事業所訪問の進捗状況の確認	・3月末までの実施完了を目指し、日程調整が進んでいないグループもあることから事務局からメールを送付する。	・初めての計画であり少しづつ顔をつないでいくことを目的とし次年度も継続して行っていくことを検討。WGメンバーに直接連絡を取り進捗状況を確認していく
	12月	12/19WG		
第4 四半期	1月	1/22WG		
	2月			
	3月			
総 評 下半期	達成率			
総 評 年度	達成率			

就労部会 【 事業所連絡会WG 】				
令和7年度 部会WG 状況把握表				
活動理念	・福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を実現する。 ・障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。			
活動目標	・事業所間コミュニケーションを図り、目に見えるネットワークをつくる。			
①	取り組み計画（PLAN）			
	②マルシェ（12/8.9：伊賀市開催、3/29：名張市開催）			
	実行実績（DO）		評価（CHECK）	改善（ACTION）
第1 四半期	4月	4/18WG ・毎月第3金曜日にWG開催。	事業所の工賃向上、利用者の販売機会の創出のため、事業所の活動を周知するため今年度も実施。 伊賀市開催は障害者週間啓発のイベントとして12月開催予定。 名張市開催または地域共生社会デザイン会議イベントまたは人権イベントとの抱き合わせを予定。時期1月頃。	
	5月	5/8WG		
	6月	6/20WG		
第2 四半期	7月	7/18WG		
	8月	8/8WG		
	9月	8/22WG ・伊賀市マルシェについて開催日までのスケジュールを確認（12/8.9開催） ・名張市は会場の都合により3/29実施へ変更 人権啓発との組み合わせはなくマルシェ単独開催	・伊賀市のマルシェへ事業所以外での参加希望あり。（出店してもらう）6以上の出店で十分なスペースの確保のため2日間に分ける。 ・名張市会場が広いので多くの出店を希望。eスポーツをする事業所も予定している	・就労系の事業所以外の参加（障害児・者にかかわる団体）を受け入れることの効果 ・昨年の意見より物販、飲食以外でも参加できるように提案していく。発表、展示など ・事業所の紹介コーナーの設置（圏域の事業所）
総 評 上 半 期	達成率	開催日決定（伊賀市は12/8.9、名張市については3/29に変更）		
	50%			
第3 四半期	10月	実施なし		
	11月	11/21WG ・伊賀市マルシェ詳細決定 参加事業所、ブース位置等確認 参加事業所伊賀市 11 名張市 4 ・名張市 参加申込12月中に案内	伊賀市、説明会実施（オンラインあり。）	・平日開催でもあるため例年の状況から特に駐車スペースや搬入時間について特に注意する。
	12月	12/19WG ・伊賀市マルシェ参加事業所数 伊賀市10事業所 名張市4事業所	・新規3事業所（レインボークラブ・さくらワークス・ケアラボ）啓発の結果、民間団体も参加があった。 ・外部の団体参加は啓発が進んでいると考えられる。	・参加事業所が増えてきたことにより啓発パネルを含む全体のレイアウト、外ブースの数、基本レイアウトと提示など検討が必要。
第4 四半期	1月	1/22WG		
	2月			
	3月			
総 評 下 半 期	達成率			
総 年 評 度	達成率			